



2月17日に和歌山市で行われた「第12回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」で、日高川町はみごと4位入賞を果たしました。

1区大前くんは10位の走りでもいい位置につけ、続く岡さんが区間3位で5位に押し上げ、3区向畑さん、4区垣口さんが我慢の走りでも7位、8位。5区原くんが区間2位の走りでも再び5位に。続く楠本さん、蔵道くんも7位、9位と頑張り、8区西川さんが区間5位の走りでも再び5位に。9区上山くんが区間5位(区間新記録)の走りでも5位。アンカーの堀江くんが区間4位の走りでもそのまま5位。オープンチームが4位に入っていたので、繰り上がって4位に入賞しました。

また、日高川町オープンチームも1区奥村くんや、5区中原くん(区間4位)の頑張りなど選手、サポーター27人の心がひとつになり成果を出せました。チーム最後の走者である西岡キャプテンがガッツポーズでゴールテープをきった姿が27人の気持ちを代弁していました。保護者の皆様、地域の皆様、応援ありがとうございました。

日高川町チーム 第4位 (1時間11分46秒)~市町村新記録賞~

- 第1区(3.0km) 大前 将暉 9分43秒【5年連続登録表彰】
- 第2区(1.7km) 岡 奈津美 5分52秒【区間3位】
- 第3区(1.6km) 向畑 涼花 5分45秒
- 第4区(1.9km) 垣口 里奈 7分10秒
- 第5区(2.2km) 原 直希 6分40秒【区間2位】
- 第6区(1.4km) 楠本 鈴 5分20秒
- 第7区(1.7km) 蔵道 樹生 6分25秒
- 第8区(2.5km) 西川由季子 8分46秒
- 第9区(2.0km) 上山 皓生 6分27秒
- 第10区(3.1km) 堀江 奎斗 9分38秒

日高川町オープンチーム 第30位 (1時間17分30秒)

- 第1区(3.0km) 奥村 僚太 9分52秒
- 第2区(1.7km) 山本 菜月 6分47秒
- 第3区(1.6km) 原 幸日 5分54秒
- 第4区(1.9km) 嶋田 有紗 8分01秒
- 第5区(2.2km) 中原 廉仁 6分46秒【5年連続登録表彰】
- 第6区(1.4km) 高尾 珠莉 5分51秒
- 第7区(1.7km) 小山 智成 6分32秒
- 第8区(2.5km) 西 清那 9分54秒
- 第9区(2.0km) 八田 侑磨 7分16秒
- 第10区(3.1km) 西岡 稔 10分37秒



退任のごあいさつ

副町長 松尾孝志

平成二十三年四月に副町長という重責を担うこととなりました。こちらに赴任するまでは当町に全くご縁が無く、右も左もわからない私をあたたく迎えていただきました住民の皆様、この場をお借りして、深く感謝を申し上げます。

二年の歳月はあっという間ではありましたが、住民の皆様、役場職員の皆様、そして大勢の皆様を支えられ、県の職員の間であれば得ることのできない貴重な経験をさせていただきました。中でも、一昨年九月の台風十二号災害で、役場職員一丸となって行った応急復旧対応、経験したことのない状況の中で考え得る限りの数々の制度設計の構築、町内外からたくさんの方の心温まるご支援をいただいたことなど、走馬燈のように思い浮かんで参ります。本当に厳しく大変な仕事ではありま

したが、多くの皆様方のおかげで、非常に内容の濃い仕事をさせていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

四月からは再び県の職員として、日高川町で経験させていただいたことを糧にがんばっていかうと思っております。職場、立場は変わりましたが、気持ちはこちらから日高川町職員のもりでもおりますので、日高川町とともに県勢発展のため、全力で仕事に取り組んでいく所存であります。

最後に、日高川町の皆様のご健勝と日高川町が今後より一層飛躍することを心より祈念いたしまして、退任のごあいさつとさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。



平成25年4月から難病等の方が障害福祉サービス等の対象となります

平成25年4月に施行される障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等の方が加わります。対象となる方は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能となります。

※障害福祉サービス、相談支援、補装具及び地域生活支援事業。

■対象者 難病130疾患と関節リウマチによる障害がある方々

■手続き 対象疾患に罹患していることがわかる証明書(診断書又は特定疾患医療受給者証等)を持参の上、担当窓口へ支給を申請してください。その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスを利用できるようになります。詳しい手続き方法などについては、担当窓口までお問い合わせください。

■お問合せ 保健福祉課 ☎22-9041

マダニに注意!!

マダニが原因か?と思われる、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)にかかった人が、国内で5名(2月末現在)報告されています。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは、新しいウイルス(SFTSウイルス)に感染することによって引き起こされる病気です。主な症状は発熱と消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。多くの場合、ウイルスを保有しているマダニ(吸血前で3~4mm)に咬まれることにより感染しています。

マダニは、家庭内に生息するダニとは違い、主に森林

フタゲチマダニ
写真:国立感染症研究所
昆虫医科学部提供



や草地等に生息しています。マダニに咬まれないように、草むらや藪など、マダニの生息する場所に入る場合には、長袖の服、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、なるべく肌を露出しないようにしてください。特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意しましょう。

また、マダニに咬まれた際に、無理に引き抜こうとせず、できるだけ病院で処置してもらってください。